

# 平成31年度

## 専攻科学生募集要項

区分	選抜方法・日程		
	推薦(学校長推薦・社会人特別推薦)	学力検査	社会人
受付期間	平成30年5月15日(火) ～5月18日(金)	平成30年6月 4日(月) ～6月11日(月)	平成30年 8月27日(月) ～8月31日(金)
選抜期日	平成30年5月24日(木)	平成30年6月16日(土)	平成30年 9月26日(水)
合格発表	平成30年5月30日(水)	平成30年6月22日(金)	平成30年10月 2日(火)
確約期日	平成30年6月13日(水)	平成30年9月28日(金)	平成30年10月15日(月)

## 平成30年4月

独立行政法人国立高等専門学校機構

### 奈良工業高等専門学校

大和郡山市矢田町22番地 (〒639-1080)

電話 0743-55-6032(学生課入試係)

# 目 次

## 学生募集要項

I. 専攻科の概要について	1
II. 募集人員	1
III. 入学者の選抜方法	1
推薦による選抜（学校長推薦・社会人特別推薦）	2
1. 出願資格	2
2. 出願手続	2
3. 選抜方法	4
4. その他の注意事項	4
5. 合格者の発表	4
6. 入学手続等	4
7. 推薦による選抜の結果合格とならなかった 場合の取扱い	4
学力検査による選抜	5
1. 出願資格	5
2. 出願手続	5
3. 選抜方法	6
4. その他の注意事項	7
5. 合格者の発表	7
6. 入学手続等	7
社会人選抜	8
1. 出願資格	8
2. 出願手続	8
3. 選抜方法	9
4. その他の注意事項	9
5. 合格者の発表	9
6. 入学手続等	9
IV. 個人情報の取扱いについて	10
V. その他	10
入 学 案 内	11

## 添付書類

- ① 入学願書(推薦用) ② 推薦書(学校長推薦志願者用) ③ 推薦書(社会人特別推薦志願者用)  
④ 受験票・写真票 ⑤ 入学願書(学力・社会人選抜) ⑥ 志願理由書(社会人選抜) ⑦ 調査書  
⑧ TOEICスコア報告書 ⑨ 入学検定料振込依頼書 ⑩ 検定料振込証明書貼付用紙

※推薦書, 調査書及び志願理由書の様式は, 本冊子添付のものに加えて本校ホームページにも  
ありますので, そちらもご利用いただけます。

<https://www.nara-k.ac.jp/enterschool/senkou/gaiyou/>

# 平成31年度 専攻科学生募集要項

独立行政法人国立高等専門学校機構  
奈良工業高等専門学校

## I. 専攻科の概要について

本校専攻科は、平成29年度に、時代の要請に合わせた高度化改編を行い、従来の3専攻から、システム創成工学専攻(募集人員24名)と物質創成工学専攻(募集人員6名)の2専攻に再編されました。システム創成工学専攻は、機械工学、電気電子工学、情報工学が融合して作りだされる新規なシステムの創成をできる人材を養成することを目標とし、機械制御システムコース、電気電子システムコース、情報システムコースの3コースを設けています。一方、物質創成工学専攻では、環境、エネルギー、バイオ、新材料及びこれらを融合したプロセスに関してその課題発見と解決を行える人材を養成することを目標にしています。

新専攻科では、システム創成工学専攻の3コース及び物質創成工学専攻が、それぞれ、大学改革支援・学位授与機構から授与される「機械工学」、「電気電子工学」、「情報工学」、「応用化学」の区分の学位に対応した形に再編されています。

## II. 募集人員

専攻別の募集人員は、下記のとおりです。

専攻	募集人員	コース	備考
システム創成工学専攻	24名	機械制御システムコース	12名程度
		電気電子システムコース	6名程度
		情報システムコース	6名程度
物質創成工学専攻	6名		

## III. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜及び社会人選抜により行います。

## 推薦による選抜(学校長推薦・社会人特別推薦)

### 1. 出願資格

#### (1) 学校長推薦

以下のア～オの条件をすべて満たす者。

ア. 平成31年3月高等専門学校卒業見込みの者。

イ. TOEICテスト(IPテストを含む)のスコア400点以上を出願時からさかのぼって2年以内に取得している者。

ウ. 出身学校長が人物・学業ともに優れていると認めた者。

エ. **入学希望の専攻, コースの関係は, 表1を満足するものとします。**

オ. **同一高等専門学校, 同一学科からの推薦上限人数は, 6名以内とします。**

表1 専攻, コース毎に推薦できる在籍学科

入学希望の専攻, コース	推薦できる在籍学科
システム創成工学専攻 機械制御システムコース	機械工学系の教育が行われている学科(特例認定*を受けている学科の場合は「機械工学」の区分の認定を受けている学科)
システム創成工学専攻 電気電子システムコース	電気電子工学系の教育が行われている学科(特例認定を受けている学科の場合は「電気電子工学」の区分の認定を受けている学科)
システム創成工学専攻 情報システムコース	情報工学系の教育が行われている学科(特例認定を受けている学科の場合は「情報工学」の区分の認定を受けている学科)
物質創成工学専攻	化学系の教育が行われている学科(特例認定を受けている学科の場合は「応用化学」の区分の認定を受けている学科)

\* 注:特例認定とは, 大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定」を言います。

#### (2) 社会人特別推薦

高等専門学校を卒業し, 正規職員として勤務中の者で, 所属企業等の長が勤務成績及び人物とも優秀であると認めて在職のまま入学を推薦する者。

### 2. 出願手続

#### (1) 願書受付

① 期 間 **平成 30 年 5 月 15 日(火)～5 月 18 日(金) 期間内必着**

② 時 間 **9時00分から16時30分まで**

③ 受付場所 **大和郡山市矢田町 22 番地**

**奈良工業高等専門学校 学生課入試係**

#### (2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は, 下記のとおりです。

① 入学願書(推薦用)	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 推 薦 書	* <b>(学校長推薦)</b> 本校所定の様式で, 出身学校長が作成してください。 * <b>(社会人特別推薦)</b> 本校所定の様式で, 所属企業等の長が作成してください。

③ 写真票及び受験票	<p>* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。</p> <p>* 写真は、正面上半身無帽で、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを使用してください。</p>
④ (学校長推薦) 調査書	* 本校所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。
学業成績証明書	* 出身学校長が作成し、厳封してください。
⑤ (社会人特別推薦) 学業成績証明書 卒業証明書	* 出身学校長が作成し、厳封してください。
⑥ T O E I C スコア報告書及び 「公式認定証」または 「個人成績表」の原本	* 本校所定の用紙に、出願時からさかのぼって2年以内に取得した最高スコアを記入し、裏面に原本のコピーを貼付してください。なお、原本は確認のうえ返還します。
⑦ 検 定 料	<p>* <b>16,500円</b></p> <p>本校所定の用紙に必要事項を記入し、銀行から下記受付期間中に振り込み、<b>振込金証明書(学校提出用)</b>を検定料振込証明書貼付用紙に貼付してください。なお、検定料の払い戻しは、<u>次の場合を除き行いません。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料を納付したが出願しなかった場合</li> <li>・出願が受理されなかった場合</li> <li>・検定料を重複で納付した場合</li> <li>・国費外国人留学生(日本政府(文部科学省)奨学金留学生)として、出身学校において奨学金を受給している者が、この奨学金の延長を申請した結果、延長を認められ、かつ本校へ入学する場合</li> </ul> <p>検定料振込受付期間 平成30年5月1日(火)～5月18日(金)</p>
⑧ 受験票の返信用封筒 (長3形封筒) ※持参して出願する場合は不要。	* 受験票の郵送を希望する場合は、提出する返信用封筒に郵便番号及び宛名を記入し、362円(速達料金を含む)の切手を貼付してください。
⑨ そ の 他	* 現に日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票」を提出してください。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、出願期間中に持参または郵送してください。  
ただし、郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書して送付してください。
- ② 提出した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願した書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ④ 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願にはTOEICスコアの原本が必要です。(TOEICスコアの原本の再発行には、申請してから1ヵ月程度かかります。)
- ⑥ 社会人特別推薦による選抜を希望する者は、TOEICの未受験者であっても、専攻科の受験資格はありますが、「公開テスト」あるいは「IPテスト」を事前に受験し、出願時にTOEICスコアを提出することが望ましいと考えます。
- ⑦ 本校卒業見込以外の者で出願しようとする者は、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定(特例認定)」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の申請になる場合があります。

あります。また、システム創成工学専攻に出願しようとする者は、出身校において取得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしてもJABEE修了ができない場合があります。必ず、入学願書受付開始日3週間前までに本校学生課入試係に照会してください。

### 3. 選抜方法

入学者の選抜は、推薦書(出身学校長もしくは所属企業等の長から提出されたもの)、調査書もしくは学業成績証明書(100点)及び面接(100点)の結果を総合して行います。ただし、面接点が40点以下の者は、本校専攻科のアドミッションポリシーに著しくそぐわないと判断し、総得点に関わらず、不合格とします。

面接は下記により行います。

- ① 日 時 **平成30年5月24日(木)**9時00分から
- ② 場 所 **奈良工業高等専門学校**

### 4. その他の注意事項

- (1) 入学願書提出後に住所(受信先)を変更したときは、ただちに学生課入試係に届け出てください。
- (2) 面接当日は**8時40分**までに、受付を終えてください。
- (3) 受験者は、検査当日「**受験票**」を必ず携行してください。
- (4) 宿泊の斡旋はしませんので、受験者において適宜確保してください。

### 5. 合格者の発表

選抜の結果は、平成30年5月30日(水)12時30分に本校構内に掲示により発表するとともに、合格者には、「合格通知書」を交付します。また、推薦者あてに可否を文書で通知します。

なお、電話等による可否の照会には、一切応じません。

### 6. 入学手続等

- (1) 合格者は、「入学確約書」(合格通知書と同時に交付します。)を**平成30年6月13日(水)(当日消印有効)までに**提出してください。「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。
- (2) 入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、**平成31年2月**下旬に「入学確約書」を提出した合格者に改めて通知します。

### 7. 推薦による選抜の結果合格とならなかった場合の取扱い

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力検査による選抜」を受験したい者は、再度、下記の出願書類等を**平成30年6月4日(月)～6月11日(月)**の間に、持参もしくは書留郵便で提出し**手続きを完了**してください。

① 入学願書(学力用)	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 写真票及び受験票	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 * 写真は、正面上半身無帽で、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 検 定 料	* <b>16,500 円</b> 本校所定の用紙に必要事項を記入し、銀行から下記受付期間中に振り込み、振込金証明書(学校提出用)を検定料振込証明書貼付用紙に貼付してください。なお、検定料の払い戻しは、推薦による選抜と同様の場合を除き行いません。 検定料振込受付期間 平成30年5月28日(月)～6月11日(月)
④ 受験票の返信用封筒 (長3形封筒) ※持参して出願する場合は不要。	* 受験票の郵送を希望する場合は、提出する返信用封筒に郵便番号及び宛名を記入し、362円(速達料金を含む)の切手を貼付してください。

# 学力検査による選抜

## 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者。(平成31年3月卒業見込の者を含む。)
- (2) 短期大学を卒業した者。(平成31年3月卒業見込の者を含む。)
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規程により大学に編入学することができる者。(平成31年3月修了見込の者を含む。)
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者。
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者。
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされる者に限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (7) その他本校専攻科において高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

## 2. 出願手続

(1) 願書受付

- ① 期 間 **平成 30 年 6 月 4 日(月)～6 月 11 日(月) 期間内必着**
- ② 時 間 **9時00分から16時30分まで**
- ③ 受付場所 **大和郡山市矢田町 22 番地  
奈良工業高等専門学校 学生課入試係**

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は、下記のとおりです。

① 入学願書(学力用)	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 写真票及び受験票	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 * 写真は、正面上半身無帽で、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調 査 書	* 本校所定の様式により出身学校長が作成し、厳封してください。
④ 学 業 成 績 証 明 書	* 出身学校長が作成し、厳封してください。
⑤ T O E I C スコア報告書及び 「公式認定証」または 「個人成績表」の原本	* 本校所定の用紙に、出願時からさかのぼって2年以内を取得した最高スコアを記入し、裏面に原本のコピーを貼付してください。なお、原本は確認のうえ返還します。
⑥ 検 定 料	* <b>16,500円</b> 本校所定の用紙に必要事項を記入し、銀行から下記受付期間中に振り込み、 <b>振込金証明書(学校提出用)</b> を検定料振込証明書貼付用紙に貼付してください。なお、検定料の払い戻しは、 <u>次の場合を除き行いません。</u> ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・出願が受理されなかった場合

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料を重複で納付した場合</li> <li>・国費外国人留学生(日本政府(文部科学省)奨学金留学生)として、出身学校において奨学金を受給している者が、この奨学金の延長を申請した結果、延長を認められ、かつ本校へ入学する場合</li> </ul> 検定料振込受付期間 平成30年5月28日(月)～6月11日(月)
⑦ 受験票の返信用封筒 (長3形封筒) ※持参して出願する場合は不要。	* 受験票の郵送を希望する場合は、提出する返信用封筒に郵便番号及び宛名を記入し、362円(速達料金を含む)の切手を貼付してください。
⑧ その他	* 現に日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票」を提出してください。

※出願資格(3)より出願する専修学校専門課程の修了者及び修了見込者については、受験資格を確認しますので、下記のいずれかの書類を添付してください。

- ① 在学する専修学校が発行する修業年限2年以上で、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了または修了見込の証明書。
- ② 専門士の称号の写し、または専門士の称号が授与される見込であることの証明書。
- ③ 既修了者で、上記①②の書類が提出できない場合は、修了した専門課程が修業年限2年以上で修了に必要な総授業時数が1700時間以上であった申立書。

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、出願期間中に持参または郵送してください。ただし、郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書して送付してください。
- ② 提出した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願した書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ④ 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ TOEICテストの未受験者であっても、専攻科の受験資格はあります。ただし、TOEICスコアは専攻科学力検査の配点で考慮されますので、受験上不利になります。したがって、「公開テスト」あるいは「IPテスト」を事前に受験し、出願時にTOEICスコアを提出できるようにしてください。
- ⑥ 出願のためのTOEICスコアの提出には原本が必要です。(TOEICスコアの原本の再発行には、申請してから1ヵ月程度かかります。)
- ⑦ 本校卒業見込以外の者で出願しようとする者は、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構の「学士の学位の授与に係る特例の適用認定(特例認定)」の適用を受けられるかの確認をする必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしても、特例認定の対象にならず通常の申請になる場合があります。また、システム創成工学専攻に出願しようとする者は、出身校において取得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしてもJABEE修了ができない場合があります。必ず、入学願書受付開始日3週間前までに本校学生課入試係に照会してください。

### 3. 選抜方法

入学者の選抜は、調査書もしくは学業成績証明書(100点満点)、学力検査(数学100点満点、専門150点満点)、面接(50点満点)及びTOEICスコアによる英語学力評価(100点満点)の結果を総合して行います。ただし、面接点が20点以下の者は、本校専攻科のアドミッションポリシーに著しくそぐわないと判断し、総得点に関わらず、不合格とします。

なお、英語学力評価点は、TOEICスコアを使い以下の換算式によって行います。

$$100点 - (600点 - \text{TOEICスコア}) \times 1/5$$

(600点以上は100点、100点以下は0点とする。)

(1) 学力検査科目

区分		出題分野(内容)	持込品*	
各専攻共通(一般科目)		数学(微分積分, 線形代数)	-	
専門科目	システム創成工学専攻	機械制御システムコース	熱力学, 水力学, 材料力学, 電気工学(電子回路を含む) 以上4分野から2分野選択	関数電卓
		電気電子システムコース	電気電子工学(電磁気学, 電気回路, アナログ電子回路)	-
		情報システムコース	情報工学(論理回路, 情報数学, 情報理論, データ構造とアルゴリズム, プログラミング, 計算機ネットワーク)	-
	物質創成工学専攻	化学工学(流動, 伝熱, 物質移動), 物理化学(熱力学及び反応速度論), 無機化学(元素の性質, 化学結合論, 固体化学), 分析化学(酸塩基平衡, 沈殿平衡, 錯生成平衡, 化学量論の基礎), 有機化学(脂肪族及び芳香族化合物), 生物化学(生体成分及び代謝) 以上6分野から3分野選択	関数電卓 定規	

\* 上表で持込品欄に記載の物品は持込が可能ですので, 必要であれば各自用意してください。

(2) 学力検査, 面接の日時及び検査場

月 日	時 間	科 目 等	検 査 場
6月16日 (土)	9:10~10:10	数 学	奈良工業 高等専門学校
	10:30~12:30	専門科目	
	13:30~	面 接	

4. その他の注意事項

- (1) 入学願書提出後に住所(受信先)を変更したときは, ただちに学生課入試係に届け出てください。
- (2) 学力検査当日は8時50分までに, 受付を終えてください。
- (3) 受験者は, 検査当日「**受験票**」を必ず携行してください。
- (4) 宿泊の斡旋はしませんので, 受験者において適宜確保してください。

5. 合格者の発表

選抜の結果は, 平成30年6月22日(金)12時30分に本校構内に掲示により発表するとともに, 合格者には, 「合格通知書」を交付します。

なお, 電話等による可否の照会には, 一切応じません。

6. 入学手続等

- (1) 合格者は, 「入学確約書」を**平成30年9月28日(金)(当日消印有効)**までに提出してください。「入学確約書」を提出しない者は, 入学の意志がないものとして取扱います。
- (2) 入学手続日, 入学に必要な書類及び経費については, **平成31年2月**下旬に「入学確約書」を提出した合格者に改めて通知します。

# 社会人選抜

## 1. 出願資格

入学時において高等専門学校を卒業後2年以上経過した者。

## 2. 出願手続

### (1) 願書受付

- ① 期 間 **平成30年8月27日(月)～8月31日(金) 期間内必着**
- ② 時 間 **9時から16時30分まで**
- ③ 受付場所 **大和郡山市矢田町 22 番地  
奈良工業高等専門学校 学生課入試係**

### (2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は、下記のとおりです。

① 入学願書(社会人選抜用)	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入してください。
② 写真票及び受験票	* 本校所定の用紙に必要事項を本人が記入し、写真を所定の位置に貼付してください。 * 写真は、正面上半身無帽で、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを使用してください。
③ 学業成績証明書	* 出身学校長が作成し、厳封してください。
④ 卒業証明書	* 出身学校長が作成し、厳封してください。
⑤ 志願理由書	* 本校所定の様式に本人が記入してください。
⑥ 業績報告書	* (様式任意)本人が行なった業績内容の概要を職務内容を含めて記入してください。
⑦ T O E I C スコア報告書及び 「公式認定証」または 「個人成績表」の原本	* 本校所定の用紙に、出願時からさかのぼって2年以内に取得した最高スコアを記入し、裏面に原本のコピーを貼付してください。なお、原本は確認のうえ返還します。
⑧ 検 定 料	* <b>16,500円</b> 本校所定の用紙に必要事項を記入し、銀行から下記受付期間中に振り込み、 <b>振込金証明書(学校提出用)</b> を検定料振込証明書貼付用紙に貼付してください。なお、検定料の払い戻しは、次の場合を除き行いません。 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・出願が受理されなかった場合 ・検定料を重複で納付した場合 検定料振込受付期間 平成30年8月17日(金)～8月31日(金)
⑨ 受験票の返信用封筒 (長3形封筒) ※持参して出願する場合は不要。	* 受験票の郵送を希望する場合は、提出する返信用封筒に郵便番号及び宛名を記入し、362円(速達料金を含む)の切手を貼付してください。
⑩ そ の 他	* 現に日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票」を提出してください。

### (3) 出願に関する注意事項

学力検査による選抜に同じ。

### 3. 選抜方法

入学者の選抜は、学業成績証明書・志願理由書・業績報告書(100点満点)、学力検査(250点満点)、面接(50点満点)及びTOEICスコアによる英語学力評価(100点満点)の結果を総合して行います。ただし、面接点が20点以下の者は、本校専攻科のアドミッションポリシーに著しくそぐわないと判断し、総得点に関わらず、不合格とします。

なお、英語学力評価点は、TOEICスコアを使い以下の換算式によって行います。  
 $100点 - (600点 - \text{TOEICスコア}) \times 1/5$   
(600点以上は100点、100点以下は0点とする。)

学力検査科目、面接の日時及び検査場

月 日	時 間	科 目 等	検 査 場
9月26日 (水)	16:00～	※専門科目	奈良工業 高等専門学校
	学力検査終了後～	面 接	

※ 専門科目(専門の基礎について30分程度の口述試験を行います。)

### 4. その他の注意事項

学力検査による選抜に同じ。  
ただし、15時40分までに受付を終えてください。

### 5. 合格者の発表

選抜の結果は、平成30年10月2日(火)12時30分に本校構内に掲示により発表するとともに、合格者には、「合格通知書」を交付します。

なお、電話等による合否の照会には、一切応じません。

### 6. 入学手続等

(1) 合格者は、「入学確約書」を**平成30年10月15日(月)(当日消印有効)**までに提出してください。「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取扱います。

(2) 入学手続日、入学に必要な書類及び経費については、**平成31年2月**下旬に「入学確約書」を提出した合格者に改めて通知します。

#### IV. 個人情報の取扱いについて

出願書類に記入された氏名、性別、生年月日、その他の個人情報は、入学者選抜及び入学手続きを行うためにのみ利用します。

#### V. その他

##### 過去の入試状況について

過去の入試状況は、下記URLをご覧ください。

URL:<https://www.nara-k.ac.jp/enterschool/senkou/jokyou/>

##### 学士の学位の取得について

学士号を取得するためには、大学改革支援・学位授与機構※に学位授与申請をする必要があります。

本校専攻科は「学士の学位の授与に係る特例の適用認定」を受けているため、平成26年度入学以降の専攻科生は、学位申請時に、科目の修得状況や「学修総まとめ科目」にあたる特別研究の「履修計画書」の提出(10月の指定された期日)及び、「成果の要旨」の提出(専攻科修了確定時)が課されることにより学位が授与されます。ただし、他高専の入学生や社会人入学生の場合は、特例による申請が認められず通常の手続きによる学位取得となることがあります。

※大学改革支援・学位授与機構は、大学等(大学、短期大学、高等専門学校並びに大学共同利用機関をいう。)の教育研究活動の状況についての評価等を行うことにより、その教育研究水準の向上を図るとともに、大学以外で行われる高等教育段階での様々な学習の成果を評価して学位の授与を行うことを業務としています。

##### 大学での単位修得等について

専攻科を修了するためには、62単位以上修得しなければなりません。この修得単位のうち、他大学等で修得した単位のうち16単位を限度に、本校専攻科での修得単位と認定されれば、その単位数を本校専攻科の修得単位に加算することができます。また、他専攻の授業科目についても履修することができ、そのうち4単位まで修了要件に含むことができます。すなわち、この加算後の修得単位数が、教養・専門基礎科目20単位、専門科目42単位の合計62単位以上あれば専攻科を修了することができます。(「奈良工業高等専門学校専攻科の履修規程」参照)

##### システム創成工学専攻におけるJABEE修了要件の確認について

システム創成工学専攻の教育は、JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定を受けた「システム創成工学」教育プログラムに基づいて行われます。本校出身者以外でシステム創成工学専攻に出願しようとする者は、出身校において修得した授業科目について確認する必要があります。確認の結果によっては、専攻科修了要件を満たしてもJABEE修了ができない場合があります。必ず、それぞれの入学願書受付開始日3週間前までに本校学生課入試係に照会してください。

なお、本校専攻科の方針として、既に修得している単位数及び既定のカリキュラムを全て履修しても、JABEE修了単位数に足りない場合は、JABEE基準を満たすために、本校の授業以外に放送大学の授業履修や他大学等の科目等履修生として単位を修得するよう指導します。

# 入 学 案 内

## 1. 設 置

平成 4 年 4 月 1 日

## 2. 目 的

本校専攻科は、高等専門学校の基礎の上に、精深な程度において工学の高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的としており、本科 5 年と専攻科 2 年の 7 年間を通して、豊かな人間性を備えたチャレンジ精神旺盛な技術者の育成を目指しています。

技術開発や研究開発により豊かな人間社会の発展に貢献したいと考えている人の入学を心から歓迎します。

## 3. アドミッション・ポリシー

本校専攻科では、次のような方に入学してほしいと考えています。

### [各専攻共通]

- (1) 豊かな人間性を有する技術者になりたい人
- (2) 自らの専門分野を生かし、さらに応用する力を育みたい人
- (3) 技術を通して国際社会や地域に貢献したい人

### [システム創成工学専攻]

- (4) 創造性を高め、新しいシステムをつくり出したい人

### [物質創成工学専攻]

- (4) 環境、エネルギー、バイオ、新材料およびこれらを融合したプロセスに関してその課題発見と解決に貢献したい人

## 4. カリキュラム・ポリシー

- (1) 工学の基礎としての、数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用する科目を配置する。
- (2) 各専攻の専門分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力を身につける科目を配置する。
- (3) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける科目を配置する。
- (4) 自主的、継続的に学習する能力を身につける科目を配置する。
- (5) 地域に対する理解を深め、地域創生に貢献する意欲を涵養する科目を配置する。

### [システム創成工学専攻]

- (6) 新規システムを開発する際に要求される、専門分野が異なるチームで仕事をし、与えられた制約の下で計画的に仕事を進める能力や、種々の技術を組み合わせても技術的な問題を解決する力を身につける科目を配置する。

### [物質創成工学専攻]

- (6) 環境に優しい新材料やエネルギーシステム、あるいはバイオテクノロジーなど、地球環境と調和した社会の持続的発展を実現するために必要な新しい科学技術を創出する力と化学研究者・技術者としての確かな研究リテラシーおよび国際競争力を身につける科目を配置する。

## 5. 奈良高専専攻科 学習・教育到達目標(ディプロマ・ポリシー)

### (A) 豊かな人間性 (Humanity)

#### (A-1)

- ・近隣に存在する古都奈良の豊富な歴史的文化的遺産を通して伝統と文化の重要性を理解し、伝承された技術を通して技術の発展の重要性を理解できる。
- ・芸術・文化などの学習を通じ、他者・他国の立場に立って、その価値観の違いを認めることができる。

#### (A-2)

- ・人類の発展に係わる、社会問題や環境問題を地球的な視野で捉えることができる。
- ・科学技術が自然や人間に及ぼす影響・効果を考慮でき、技術者としての社会的責任を理解することができる。

### (B) 工学の基礎知識 (Foundation)

#### (B-1)

- ・数学(微分積分, 線形代数, 確率統計, 数値解析)と自然科学(物理, 化学, 生物)の知識や思考力により, 工学的諸問題の解決に適用することができる。

#### (B-2)

- ・基礎工学(設計・システム, 情報・論理, 材料・バイオ, 力学, 社会技術)の知識を専門工学に応用することができる。
- ・情報関連機器を駆使し, 必要な情報の検索・収集やデータ解析をすることができる。

### (C) コミュニケーション能力 (Communication)

#### (C-1)

- ・日本語による, 論理的な記述力を身につけ, 技術論文を書くとともに内容について発表・討論することができる。

#### (C-2)

- ・英語で書かれた文献を読解し, 情報収集できる。
- ・英語を用いて技術報告書を書く基礎能力を有する。
- ・英語を用いて口頭による発表および討論が行える基礎能力を有する。

### [システム創成工学専攻]

### (D) 新規システムを創成する意欲と能力 (Challenge and Creation)

#### (D-1)

- ・機械工学, 電気電子工学, 情報工学のいずれかの専門分野に精通し, その分野の技術動向を把握することができる。

- ・異なる技術分野（融合・複合）を積極的に学習し、新たなシステムの創成に取り組む意欲と能力を身につけることができる。

(D-2)

- ・システムの安全性、品質保証、環境負荷、経済性など実務上の問題を理解することができる。
- ・与えられた課題について、解決するためのデザイン能力を身につけることができる。
- ・自主的・継続的に問題解決に向けて学習することができる。
- ・チームワークにより、定められた条件のもとで、課題を完成させることができる。

### **[物質創成工学専攻]**

(D) 先端研究を通じた新しい物質・材料の創出とその生産手法へのアプローチ (Challenge and Creation)

(D-1) 基礎研究

- ・環境、エネルギー、バイオ、新材料およびこれらを融合したプロセスに関する専門分野に精通し、その分野の技術・研究動向を把握することができる。
- ・専門知識を基軸とした幅広い視野から問題解決へ取り組める能力を身に付ける。

(D-2) 応用研究

- ・人類社会の持続的発展を実現するために、基礎研究により培った技術・研究を応用し、新しい科学技術を創出することができる。
- ・専門知識を生かして地球環境と調和した豊かな社会の構築に貢献し得る優れた技術・研究能力を身に付ける。
- ・多様化する国際社会で主体的に活躍できる技術・研究能力を身に付ける。

## **6. 人材養成目標**

- システム創成工学専攻 機械制御システムコースの人材養成目標  
機械・電子情報・制御工学等の知識を基礎に、より高度な設計能力、システム開発能力、メカトロニクス技術能力を身に付けた技術者・研究者となりうる人材を養成する。
- システム創成工学専攻 電気電子システムコースの人材養成目標  
電気電子工学の基礎理論、電力システム、電気電子材料・機器、情報通信システムなどに関連する高度な知識と技術を修得し、新たなシステム創成で社会に貢献する技術者・研究者となりうる人材を養成する。
- システム創成工学専攻 情報システムコースの人材養成目標  
コンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワークに関する知識を基礎に、高度な情報工学に関する技術と問題解決能力を身に付けた技術者・研究者となりうる人材を養成する。
- 物質創成工学専攻の人材養成目標  
時代の動向に対応し、環境、バイオ、エネルギー、新素材等の先端研究開発やこれらを融合した新規プロセスの構築に必要な能力を身に付けた国際的に活躍できる技術者・研究者となりうる人材を養成する。

## 「システム創成工学」教育プログラム 育成しようとする自立した技術者像

近年の技術は特定の分野だけでは創り出すことは出来ず、幅広い知識をもとにシステムとして考えなければなりません。新しいシステム（ハード、ソフトとも）を創成して行く為には、幅広い工学基礎能力をベースとし、それぞれの得意とする専門技術を生かし、異なる分野の技術を融合、複合させることが重要となります。

本校では、機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、情報工学科の4、5年と専攻科システム創成工学1、2年の4年間に、このような新しいシステムを設計、開発出来る技術者の育成を目標として、学科、専攻共通で「システム創成工学」教育プログラム（日本技術者教育認定機構：JABEEの認定対象）を設定しています。この教育プログラムでは、「自身の専門分野の高い知識や能力を持ちながら、関連する他の専門分野や一般教養の知識・能力を取り入れ、自然や社会との共生に配慮した高度なシステムを構築する能力を有する技術者」を育成することを目指しています。

## 7. 修業年限及び修了要件・その他

- (1) 修業年限        2 年
- (2) 修了要件        62 単位以上

## 8. 入学手続き

入学確約書を提出した合格者には別途通知します。

## 9. 入学時の所要経費

入学金、授業料など

(平成 30 年 4 月入学者納入額)

種別	金額	備考
入 学 料	84,600 円	入学手続き時に納入
授 業 料	年額 234,600 円	年 2 回（前期 4 月，後期 10 月）に分けて納入，前期分 117,300 円，後期分 117,300 円
その他経費		
学校災害共済掛金保護者負担	年額 1,520 円	前期 4 月に納入
学外研修等積立金	年額 20,000 円	年 2 回（前期 4 月，後期 10 月）に分けて納入，前期分 10,000 円，後期分 10,000 円
小 計	340,720 円	
後援会入会金	20,000 円	入会時に 1 回（本校を平成 30 年度に卒業した者は不要）
後援会会費	年額 18,000 円	年 2 回（前期 4 月，後期 10 月）に分けて納入，前期分 9,000 円，後期分 9,000 円
合 計	378,720 円	

\*授業料については、前期納入時に年額を一括納入することもできます。

\*入学時及び、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 10. 奨学金制度等

学業・人物ともにすぐれ、かつ、経済的理由により修学が困難な学生に対し、日本学生支援機構等学資を貸与・給付する制度があります。(奨学金制度)

特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、入学料を免除する制度があります(入学料免除)

経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、授業料を免除する制度があります。(授業料免除)